

コンパクトカーに革新をもたらしたセンタータンクレイアウト。 その価値と可能性を最大限に高める完全新設計プラットフォーム。



Newフィットの開発にあたり、燃料タンクの形状からボディフレームの1本1本に至るまですべてのパーツを見直し、センタータンクレイアウトのもたらす価値の最大化に取り組みました。そして、空間の豊かさやデザイン自由度、燃費性能や走りの楽しさをさらに高める新設計プラットフォームを完成。コンパクトカーの可能性を飛躍的に高めました。

新設計プラットフォームの特徴

〈燃費性能やダイナミクス性能に貢献する軽量化の徹底〉

- 高効率軽量化技術の徹底投入

〈空間の豊かさやパッケージング自由度の向上〉

- 新構造センタータンクレイアウトによる室内空間の拡大
- 4コンポーネント構造によるパッケージング自由度の拡大

〈多様なパワートレインに対応するフレキシビリティの進化〉

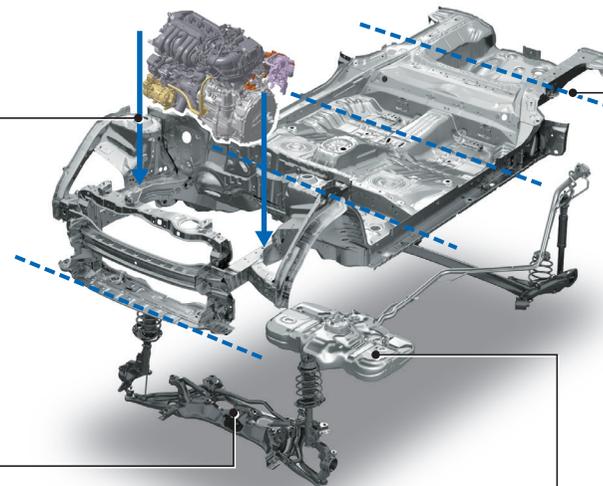
- パワートレインのマウント位置統一化
- 高電圧系部品の搭載自由度向上

● パワートレインのマウント位置統一化

ガソリンエンジンやハイブリッドシステムなど、さまざまなパワートレインニーズに効率的に対応。

● 4コンポーネント構造によるパッケージング自由度の拡大

プラットフォームを、エンジンルーム、フロントフロア、ミッドフロア、リアフロアの4コンポーネントで構成し、接合部を共通化。パッケージング自由度を大幅に向上。



● 高電圧系部品の搭載自由度向上

電動化技術の拡大を見据え、バッテリーをはじめとする高電圧系部品の保護構造をあらかじめ構築。

● 高効率軽量化技術の徹底投入

衝突エネルギーを効率的に吸収するフロアロードパス構造をはじめ、超ハイテン材(高張力鋼板)の採用などにより、従来プラットフォームに対し約12%軽量化。

● 新構造センタータンクレイアウトによる室内空間の拡大

燃料タンクを薄型化するとともに形状を工夫しフロントフロア高を低減。衝突安全性能やボディ剛性を高めながら、室内空間のさらなる拡大を実現。

